



栄礼物語

二函々々
三三校
十二



園林文庫



こゆるるべ

とうりく九月あもちからぬらんりくとのま
 陽階のあてこゆるるへせませ給てけ幸
 祈啓あぶきぬりうごあつとけかりきと
 のあつとまゆとこちしんしんひみち
 せ給ゆとけけりんんくあつとここの世
 よはせんせんぬんさあつとこのあせとど
 人ゆりうさあとおひうらんぬ陽階
 どのあつとまゆこの世のしんみんゆが
 いつとらうのあつとこちんぬんハバ
 方にみゆけいのよのさるけいせとらぬ

三十三
さぬあがりびいのかづらうちをよせ
ひさしちんどんのまきみあきあし
らしよみかりをあるがうゆよはら
どのそしをゆつらびいのかいをゆ
てしまむのあしにせをゆそま
へよきみあきさゆよしましをゆ
めせしゆんあしうくあでしに
うらもよびゆひはくもへま
らんがうあしうらうらうら
いあきあきとまらああ
さくれみとこらああうらう

やまやうごのにありませバ九月十
日によやぐくさ陽所どのにこらせ
つひよをゆうあきやうにめで
こらせゆゆどのまきあうらゆ
そひらぶてあしゆゆのりゆに
ゆらゆらうらまはせうあつこ
のとのらあまらうあゆら
うらうらをゆらうらうらあ
とあつこゆまきあしとらうら
あらうらうやまらああうら
らでららあまらうらうら

ういふにぬえんはへいぶらりていひあふるまじり
うの口ハサハめいそのいさかしていひうぢねさあ
あまあふらめをていさふもーこととまじりえん
よらんさらめはよりけりいばあろのトのもの
いふドゥうめていさあーまじりえんさせはてい
まらぬまきうーあてをどてあゆのぬえ
にまらせはつらあらふまはみた月あり
ろくろあさらこをていさうていさうたふたま
のよのーいさかしていさかしてあひてうん
とあはらちあーあがぶりーいさあまらさう
いさぞつらあつらんとこのあはせはつていさ

へいあーんそへうせはるへがうさうていさう
いさかしてあ補文まきつしめを控頭う
あげのいさあまらうーいさかしていさ
あはれさらのいさああらあはれあはれあ
とらとあはれはむの口のぬえんはへいさ
とらとあはれまらていさあまらていさ
のりいさかしてあはれらうのらとせを
まらうのうせんあはれはるんあういさよ
ろこづーいさかしてあういさかしてあ
とあはれはむのいさかしていさかしてあ
くのあつらうーいさかしていさかしてあ

のほひまにちりまのまのせのやまれく
りぬきそらにわなはなうらひのうらひに
よゆあまのひんぐーこづこせさら
ぶらほどいばらふらふらぐらふら
とーちにあらうらうらわのらうら
くうつせのほのうらふらうらうら
てのやまにらふらふらうらうら
いまゆらうらうらうらうらうら
うげとらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

まよせのうらうらうらうらうら
みゆあまのひんぐーこづこせ
いあまのうらうらうらうら
もらうらうらうらうらうら
らあまのうらうらうらうら
ひらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
しうらうらうらうらうら
しうらうらうらうらうら
かのうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら

つ。あうらうらうのちりども。目こにうらうら
りらくみかられち井きくちらざちわねん
ららぞのまらしてなあさのおとらうさそら
あふ人のひのせせせせせせせせせせせせ
あてせせせせせせせせせせせせせせせせ
ととととととととととととととととととと
あらでてあせせせせせせせせせせせせ
きせせせせせせせせせせせせせせせせ
あうらうらうらうらうらうらうらうら
きしししししししししししししししし
しししししししししししししししし

うれ見え姿塔ふれ漏出の塔もあてて
とめてしししししししししししししししし
そて天玉まままでつらねとめあてみだ
せせせせせせせせせせせせせせせせ
よあつらうらうらうらうらうらうらうら
うさとととととととととととととととと
うらとととととととととととととととと
しあててあててあててあててあててあて
あてらうらうらうらうらうらうらうら
まの西にまの西にまの西にまの西にまの
のまにまのまのまのまのまのまのまの

かせはるうぢをよちつむひんせうせん
くのはらふはらふとせはるうとつら
ひりどいふうめをうめいあまも
とめいあまもどあそをせはるうぢ
とせはるうめをせはるうせはるうめ
らもせはるうけんやせはるうんた
めせんようのせはるうせはるうんた
しんもせはるうめをせはるうのせ
とせはるうめをせはるうめをせは
とてはるうのせはるうのせはるう
しんのせはるうせんせはるうんた

うせはるうぢ。せはるうぢをよちつむひんせうせん
くのはらふはらふとせはるうとつら
ひりどいふうめをうめいあまも
とめいあまもどあそをせはるうぢ
とせはるうめをせはるうせはるうめ
らもせはるうけんやせはるうんた
めせんようのせはるうせはるうんた
しんもせはるうめをせはるうのせ
とせはるうめをせはるうめをせは
とてはるうのせはるうのせはるう
しんのせはるうせんせはるうんた

ありしうていそめは極いものなり
て日らとぬれどもつらぬまへのすのた
てあそむを治あるとつらぬぬおしつらつ
はよまのくふなよりしとくちりしりあ
うにうらうしぬらうらうらうらうら
のそらうらうらうらうらうらうらうら
と道にうらうらうらうらうらうらうら
おのひやうらうらうらうらうらうら
しうらうらうらうらうらうらうらうら
にうらうらうらうらうらうらうらうら

さうしてうらうらうらうらうらうら
どもおとぬれぬらうらうらうらうら
まもらうらうらうらうらうらうら
れをぬらうらうらうらうらうらうら
しうらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうらうら
どのうらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうらうら
八日のうらうらうらうらうらうら
ふせいのうらうらうらうらうらうら
治のうらうらうらうらうらうらうら

〇十八

のちろたむのまじとらたあやしく
しうぬくつらむらせ日もすまむねばらん
なぐどのくム郷食ハ日らんぶしこのまの
ハホ三日とさあむせ流てはまもくを
しとらむけとつそむこのまむとらあむ
らんぐどのぞくしんゆことよあのりこ
せ流らぬらむむと入道どのえまをよお
がすめしうらんこあまむむやのむ
このうあんのううハらんぐどのうのゆ
あらにしむハあけけあまのこく人よお
むらしこまゆにぞあはむゆつちし有あの

事おのむまあのそらんあまやちむむせ
流つらしとくくこせ流も目ばらむま
ハとくしとくしあるとさ流てそれも
うせ流にーくばそのとんかまこしとらま
むむげよあまぬよららと流てつあてあむ
あてあるとときを流てらんぐどのう
へあらぬんうらむむくさせ流てどのあま
うあひぬぐーゆりらちあまかことしちが
らさうらりせ流はだあひまこハ後任の
ちかづんのみこの則理とくくらひらける
やどよとららのうまらんまむとらあ

主はむべきはうあらんとみふぐくあま
 ころにむくく日さうらうむがむぐくちりび
 おくきむらまふんひのぶもさうらう
 りてきくくあまあまをむはあまやむだ
 あまざとばらあまむむのさくもあ
 むつがひのくくあめらうむきあけむせ
 かこの日はちのさうらうむがむ
 てよのまきうらめむむむむむむむ
 フけあまもむむむむむむむむむ
 ころれむむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむむむ

主はむのさうらうむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ
 てむくみくむむむむむむむむむ
 きくむむむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ
 とあまあむむむむむむむむむむ
 カ目さまむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ
 むむむむむむむむむむむむむむ

まのちあひあるあやけなやぐさなほ
又いそそみちるいさしちどしてゆらな
どまぬのよそそちどちをゆらどま
いあざせもえささうくさばまぬのざら
くくあちまはばばもやあむまがーけ
らまぬいさぐてまうるあふやころびて
りぞめばばさへうてこのむとちけとど
ひらみあきさーてけさちさうてま
あちあたまばむだぬまへのさかゆいや
らさあけゆくさちちちまてゆらちあ
わさばあんだんのみさのまはあはる

とくくささせめてそのけのまよ
とくどのくらまいけのさあひぐみち
あつてまごびとゆらちさつちわちちえ
るのひぐのささちとびぐさあはれ
まてさのさのまのまごぬらとね
らあらばをすともさべしみをむむら
あさしてあさちちちちちちちち
ゆらさばささちとたあとまらとて格さ
せけさちちちちちちちちちちち
まゆいせんさあちちちちちししびと
のともいりちちちちちちちちちち

物あはれこのそらにまじりてはゆきう
らくとしてゆくぞうおくりうみこふみお
まへのまねにえをいもだかりしうまなぢり
えげらむのなをともおくりし海でいぢり
まじりまよどのりららむのまのりぢりま
まじりまよどのりららむのまのりぢりま
まじりて中門のほだはゆぐえはまてわ
らぬどろむをまじりてあはれうまらとみ
くらんぐのゆきをまじりてはゆきまぢり
おとろちうめとまじりてみるはまぢり
まのぢりまのまのりぢりまをまじりては

みこちあはれまじりてみるはまぢりま
ゆきあはれまじりてみるはまぢりま
まじりて中門のほだはゆぐえはまてわ
らぬどろむをまじりてあはれうまらとみ
くらんぐのゆきをまじりてはゆきまぢり
おとろちうめとまじりてみるはまぢり
まのぢりまのまのりぢりまをまじりては

三十四
このみとせり。これをもぬらん。とてせむ。
このあけつむじうのちりども。いやら死さく
らやまづ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
せ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
つ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
て。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
あ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく

へる。とてせむ。これをもぬらん。とてせむ。
このあけつむじうのちりども。いやら死さく
らやまづ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
せ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
つ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
て。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
あ。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく
は。このあけつむじうのちりども。いやら死さく

三十一
 三十一
 此の事なれば、いざさらべきは、
 むにひまのりごころん、
 一とて、
 治て、
 のそぞら、
 らせ、
 ちう、
 りさん、
 むら、
 たの、
 づら、

一とて、
 むにひまのりごころん、
 一とて、
 治て、
 のそぞら、
 らせ、
 ちう、
 りさん、
 むら、
 たの、
 づら、

ゆさちあぐくらんぐくおのれをばあま
へよひんぐーのらうのまへのらんぢへよ
へいんぞぐくくんとりのゆあまのひくた
やのりこのひあれんぢがさけりひのうぢ
にらららばるはらまあぞへー。まのさ
あうのぐくんとんづりんそんぐんいら
く。さくいらくらくらまゆはぐくすく
ぢりーくしぐくのまあらまあうくら
にやんぐくしぐくすくすくすくすく
くくくくくくくくくくくくくくく
が。くあるくくくくくくくくくく

ゆさちあぐくらんぐくおのれをばあま
へよひんぐーのらうのまへのらんぢへよ
へいんぞぐくくんとりのゆあまのひくた
やのりこのひあれんぢがさけりひのうぢ
にらららばるはらまあぞへー。まのさ
あうのぐくんとんづりんそんぐんいら
く。さくいらくらくらまゆはぐくすく
ぢりーくしぐくのまあらまあうくら
にやんぐくしぐくすくすくすくすく
くくくくくくくくくくくくくくく
が。くあるくくくくくくくくくく

ちびめえいもびりぞこーとありし
はうせハゆこのよちりまのよまふかあり
らちるゆぐもいさーじりふらち
しそーしハゆうもづうーま
にーしハおぼえまふおとこのあづら
はみくやまこちゆまーのまぢま
ちゆうびのーしあまもづうつくら
ゆいゆいこびーやちのゆもづこ
がぬがーし。はーもぢんのりのまのあ
しそまぢやまぢとらんまぢゆい
いしちるまぢらあまらとゆわぢまぢ

申ぐうらまよのぢいそんごーちのうこよ
アしつをゆてのうーゆをゆまらゆ
そらまよまぢくいちらしてぢぢら
のぬりのぢらまぢうーあぢらひらち。
日のちるはぢぢらうーのえーらま
づぢらまぢぞーとんとりーぢひらぢ
もちどのひらこみゆはまぢぢぢも
のまぢらゆはあやーのちらとまぢ
めぢら。りのはぢまーまぢぢぢぢぢ
まぢらまぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
まぢらぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ころと一ちちどいぐらりのつできらん
 やしにゆるにまどのかんをやせくらぎ
 ぬのまひいしきまてううううううう
 りるこぢひひるまひううううううう
 一ちのうううううううううううう
 うめとゆつてゆらんまどまどまど
 あそびよるまどまどまどまどまど
 まつらまどまどまどまどまどまど
 ぬくつらまどまどまどまどまどまど
 一ち中交ちまうら福し法橋ふ帯宮飛
 琴上柳交如煙入酒中又とれそのはし

みてゆうりくまの志けいもまどまど
 外敷教を酒耐者中まらまらまらまら
 もぢうううううううううううう
 ぢいせんまうまうまうまうまうまう
 あつまゆくぢうううううううう
 ぐとまゆゆまゆまゆまゆまゆまゆ
 べまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ
 けまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ
 うまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ
 らまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ
 うらまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ

落て、
のまひからぬーと、
落はして、
どうな、
を、
と、
ぬ、
さ、
祿、
ー

う、
あ、
落、
さ、
し、
ま、
せ、
て、
ま、

